

マンスリー・ハイライト 拝啓社長殿

マネジメントのための経営財務情報

今回のテーマ： 次世代 ATM が牽引する顔認証

2023年9月26日、セブン銀行は、新型 ATM（第4世代 ATM）を利用した新サービス「+Connect（プラスコネクト）」の提供を開始しました。地方銀行などの提携金融機関の顧客も同サービスの提供を受けることができます。

ATM の機能

ATM とは「Automatic Teller Machine」の略で、日本語では「現金自動預払機」と呼ばれています。Teller（テラー）は銀行の窓口係・出納係のことを指しますが、ATM には、預金の預入れや払出し、振込み、残高照会や通帳記帳といった銀行の窓口・出納業務の一部を自動で行う機能があります。

しかし、銀行の窓口係は、上記の他にも様々な業務を行っています。新型 ATM は、Teller としての機能を実際の窓口業務により近づけたものと言えます。

新型 ATM で何ができるのか

セブン銀行が、第1弾として開始したサービスの内容は以下のとおりです。

サービス名	サービス内容
ATM 窓口	口座開設、住所・電話番号などの届出情報の変更等、これまでは窓口や郵送、Web で行う必要のあった手続きが、ATM で 24 時間 365 日可能となります。
ATM お知らせ	顧客の ATM 利用時に、提携金融機関に代わり、ATM が届出情報の変更有無の確認や商品・サービスの紹介を行ってくれます。

例えば、銀行が提供するスマホアプリの利用に当たり、電話番号認証（SMS 認証）による本人確認を行っている場合、銀行に届け出た電話番号を変更した顧客は、窓口で電話番号変更の手続きを行わなければ、スマホアプリによる取引を行うことができなくなってしまいます。この点、ATM 窓口を利用すれば、銀行の営業時間外であっても届出情報の変更を行うことが可能となります。

新サービス提供の要は顔認証

新型 ATM を利用したサービス提供の要となるのは、顔認証機能による本人確認です。新型 ATM が、顧客のマイナンバーカードや運転免許証の IC チップから顔写真の情報を読み取ると共に、搭載された高性能カメラによる顔認証を行うことにより、厳格な本人確認を行うことが可能となります。

2024年春には、新サービスの第2弾として、顔認証機能を利用したキャッシュカード不要の入出金取引の開始が予定されており、キャッシュカードの紛失・盗難リスクの軽減や利便性の向上が期待されます。

お見逃しなく！

セブン銀行は、2019年から新型 ATM の導入を始め、2023年9月1日現在、首都圏を中心に1万5千台の新型 ATM を展開。2025年3月末までに全国2万7千台の ATM をすべて新型 ATM に入れ替える予定です。また、同行は、提携する金融機関についても、将来的には100社程度まで増加させたい意向です。

高度なセキュリティが求められる銀行の本人確認に顔認証システムが導入されることにより、受験会場やコンサート会場への入場、ホテルのチェックインなど、社会のあらゆる場面における本人確認の方法が顔認証に変わっていく可能性があります。